

わたしの大福

四年 和田いろは

わたしは、ハムスターをかっています。そのハムスターの名前は、大福です。白くて、せ中に線みたく黒いもようがあつて大福にみえるからです。

最初、大福に会ったのは、一年前のわたしのたん生日でした。わたしのたん生日にお父さんがかってくれました。まだ、かい始めたばかりのときは、すごく小さくてふるえていたのでさわってもいいのかなと思つていました。けど今は、元気いっぱいにケージの中で遊んでいます。

そんな大福は、すっかり家族の一員になっています。それは、ケージをあけたらすぐに小屋から出てくるからです。わたしのおいが分かつていたり、えさをいつもあげているからくれるのかなと思つているから出てくるのだと思います。出てくるすがたを見るとかわいくて心がいやされます。他にもごはんを食べているすがたや、ねているすがた、回し車で回っているところなどをみると心がいやされます。

大福は、ハムスターなので自分でそうじすることやえさを入れること、水をかえることができません。なので、かわりにわたしがそうじをしたり、えさをあげたり、水をかけたりします。かわいい大福のためなら家族だし、なんでもできちゃいます。

そうじをした後に大福をケージにもどすと気持ちがよさそうにすぐねちゃいます。大福がこんなに気持ちよさそうなすがたを見るとそうじしてよかつたなと思います。

夜行せいのハムスターは昼間はねていることが多いのであまり動きません。夜は、起きていると思うので、回し車で遊んだりトンネルの中で休んだりしているとと思います。好きな大福のことを、もっと知りたいので本当は、夜もずっと起きててかんさつしたいけれども、わたしは、いつもねむくてねちゃいます。いつかは、一日中起きて大福のことをかんさつしてもっと知りたいです。

毎日、大福のすがたを見て楽しんだりいやされたりしています。ハムスターのじゆ命は長くて三年くらいと言われています。大福がいなくなることは考えられませんが、いつかは、いなくなってしまう日が来ます。でもわたしは、大福が少しでも長く生きていられるように、ケージをきれいにしたりえさをあげたりして大福がストレスがたまらないようにすごせるようにしたいです。

大福との楽しい生活が長くつづきますように。